

【緑地を楽しむ本】

『楽しい気象観察図鑑』



まだまだ暑い日が続いても、空を見ると、もう秋が忍び寄ってきているのがわかります。同じような晴れの天気でも、空の色が心なしか澄んできて、空高くすじのような雲が走っているのです。

今まで木や花に向けていた目を、上空に向けてみましょう。そこにはまだ知らない世界が広がっています。そんな時助けてくれるのが『楽しい気象観察図鑑』です。

まず、雲の形です。基本はたったの10種類、空の上の方に3種類(すじ雲、うろこ雲、うす雲)、中ほどに3種類(ひつじ雲、おぼろ雲、雨雲)、下の方に4種類(うね雲、

霧雲、綿雲、入道雲)です。美しい写真を見ながら解説を読むと、ああ、こんな時にこの雲は出るのだな、と納得します。これを覚えてだけで、空とお近づきになれるのが不思議です。

その他にも雨や雪、朝日や夕日、オーロラなど、いつも見慣れた景色から見たこともない不思議な空まで、どれも実に美しい写真で紹介してくれます。どうしてできるのか、きちんと解説もあり、よく注意していればきっと出会える、そんな気持ちになります。なかでもどうしても見てみたくなかったのは、「グリーン・フラッシュ」。お日様が地平線に沈む最後の最後に、ほんの一しずく、緑の光を放つのだそうです。

(小川)